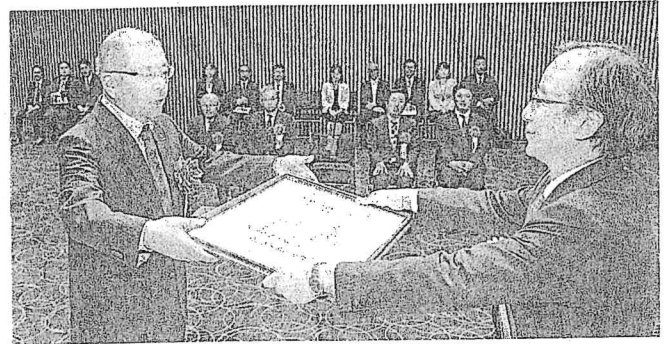


努力と貢献これからも

県経済振興賞 4社・1団体表彰



花角英世知事(右)から県経済振興賞の表彰を受ける兼古製作所の兼古耕一社長＝8日、新潟市中央区

県内経済の発展に貢献した企業・団体に贈られる「第36回県経済振興賞」(新潟博覧会記念財団主催)の表彰式が8日、新潟市中央区の新潟日報メディアアシッブで行われた。同財団理事長の花角英世知事と副理事長の小田敏三・新潟日報社長から、受賞した4社・1団体の代表者に賞状や記念のレリーフが贈られた。

受賞したのは、金属部品加工の飯塚鉄工所(柏崎市)、金属製品製造の内山熔接工業(新潟市西蒲区)、工具メーカーの兼古製作所(三条市)、酒造会社などをつくる県酒造組合(新潟市中央区)、ホームセンターなどを展開するひらせいホームセンター(新潟市西区)。

花角知事はあいさつで「優れた研究開発や雇用拡大で県経済に貢献いただいた。今後ますます発展していくことを期待している」と激励した。

飯塚鉄工所の飯塚肇社長は「地道に技術を磨いてきた社員が報われた」と喜び、内山熔接工業の内山繁男社長は「40年間ものづくりに取り組んできた成果が評価されてうれしい」と語った。兼古製作所の兼古耕一社長は「これからもユーザーの需要に応えた製品開発を続けていく」と前を見据えた。

「にいがた酒の陣」などに取り組んできた県酒造組合の大平俊治会長は「新潟の酒をアピールし、本当に酒が好きな人に喜んでもらおうという思いで続けてきた」、ひらせいホームセンターの清水泰明社長は「顧

客が喜び、気軽に商品を買える店づくりに取り組んできた」と、それぞれ振り返った。

同財団は1983年に開催された新潟博覧会の剰余金を基に設立された。